

後藤精機 社員が語る今月のコラム

タイトル 試作金型の活用事例 担当：S(成形)

第51回目となる、技術ニュースをお届け致します。

試作型が一般的に言われている **短納期**、**低コスト** だけではなく、  
**本型を使わずにあえて、試作金型を採用するケースとは？**

今回は弊社の**実際の事例**を確認下さい。

**事例1 古い製品の保守部品が必要だが、ロットも少なく本型を製作する予算を取れない。**

実際の製品をサンプルでお預かりし、

**試作金型**を製作して、**外観処理も行った成形品**を

3年にわたって、**トータル3000個**を成形して納入致しました。

**事例2 年間300個ほどの透明度が必要なウインドウカバーを切削品で制作していた。**

試作金型で成形することで**透明度の高い、品質の安定した製品**が出来た事により、

型費も2年で償却、その後も3年間成形費用のみで**大幅なコストダウン**が達成出来ました。

**事例3 試作金型をつくれればコストダウン出来るが、金型の資産計上が出来ない為、発注が難しい**

年間のロット数と型保管期間を概算で出して頂ければ、

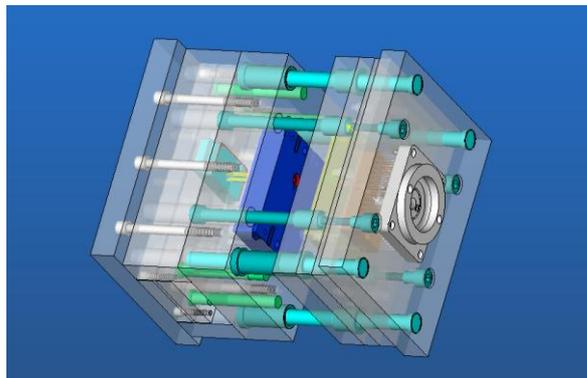
製品単価に金型費を分散して**部品単価としての対応**も可能です。

**事例4 切削加工が困難なゴム(エラストマー)を試作検証したい**

エラストマーは高い伸縮性と柔軟性を持ち、繰り返し使用しても元の形状に戻る性質があります。

弊社では、**試作金型でも量産品と同等の成形品**を納品させて頂き、

更に**シボ処理や皮シボ**等を行う事で、**外観や触り心地の検証**も可能となります。



今回の技術ニュースも私たちの日々の取り組みをご紹介しますのでご覧ください。

微細加工  
技術ニュース

株式会社後藤精機

〒226-0027 横浜市緑区長津田6-11-20  
TEL: 045-984-3311 FAX: 045-981-1511  
URL: <https://www.gotoseiki.com>

研究開発設計者様のための技術情報サイト

「**微細加工.COM**」

微細加工 検索

今すぐ  
検索して